

# 新地町の復旧・復興状況

2018年4月 更新

新地町の主な復旧・復興事業の進捗と町の様子を写真で紹介しています

新地駅東ではLNGを活用する地域エネルギーセンターが着工し、ホテル・温浴施設、町民ホール、複合店舗も近く着工します。沿岸部では防潮堤が完成し、県道も復旧が進み一部が開通、防災緑地の整備も進んでいます。



植樹された釣師防災緑地から見る鹿狼山

町のシンボルの山、標高430mの鹿狼山は小さな子供からお年寄りまで登れる山として、年間を通して多くの登山者が訪れます。今年の元旦も、日本一早い山開きと銘打って、雪が残る中を3千人以上の登山者で賑わいました。春の新緑シーズンを迎え、さらに賑わいます。



今年の元朝登山開会式

3月25日、釣師防災緑地植樹祭が盛大に開催されました。



町内外から600人以上が参加



記念植樹



賑わった漁港広場



新地駅周辺の土地区画整理事業が進み、住宅建築の他に、駅東エリアには診療所が開業し、LNGをこの区域で活用する「地域エネルギーセンター」も着工。駅西エリアには、温浴施設、ホテル、町交流センター、複合店舗が間もなく着工します。また、駅近くに整備された一般車駐車場は、4月からコインパーキングとして開業しました。



来春開業予定のホテル・温浴施設イメージ

# 新地町の名産・名所

	H23.03	H26.4.1	H30.1.1
人口	8,387人	7,936人	8,270人
世帯数	2,654世帯	2,609世帯	2,832世帯
現在面積	46.69 km <sup>2</sup>		

H23,26年に関しては住基人口、H30年は県統計現住人口（震災後、転入者に未登録者が多く傾向を見るため現住を採用）

福島県浜通り地方  
最北端のコンパクトな町



【カレイ】



【コウナゴ】



【ニラ】



【いちじく愛す】



【スイートマシェリ】



【清酒 鹿狼山】

【鹿狼山 年間来訪者4万人】



【花木山ガーデン】  
標高140mからの絶景

# 福島第一原発事故と町の空間線量

2018年1月26日 町測定空間線量  
0.04~0.13 $\mu$ Sv/h(最低値と最高値)



- 3/12 1号機 爆発
- 3/14 3号機 爆発
- 3/15 2、4号機 爆発



屋内待機や搜索中止の指示。  
正確な情報が入らない、避難したくてもできない状況に町民の不安はさらに高まる。



▲ 第一原発 津波襲来

### 主な地点の空間線量

鹿狼山登山口駐車場		役場庁舎前駐車場
H24/1	H30/3/6	H30/3/6
0.36 $\mu$ Sv/h	0.06 $\mu$ Sv/h	0.07 $\mu$ Sv/h

### ▼3号機爆発後



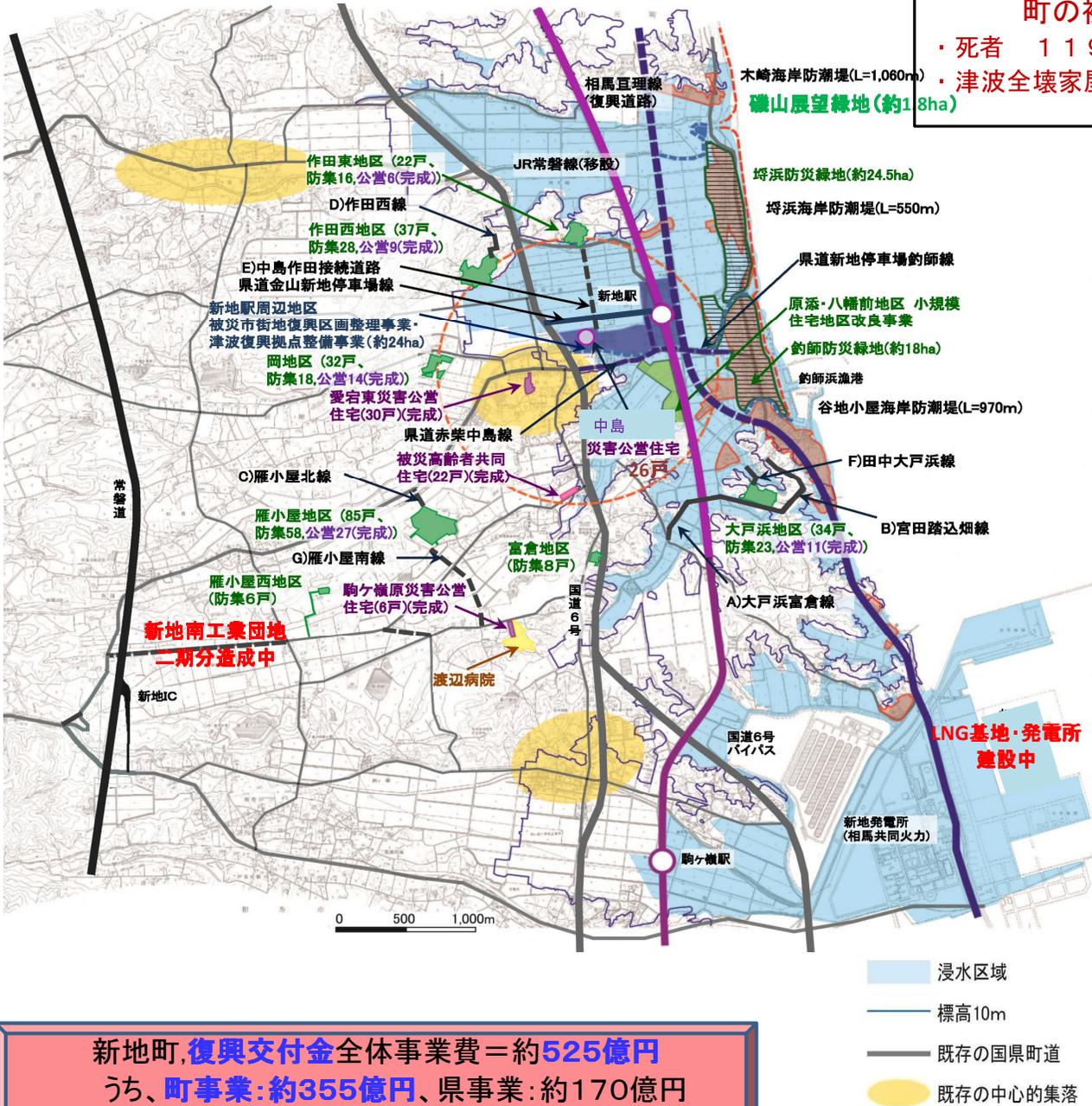
# 新地町 主な復興事業箇所図

**町の被災状況**

- ・死者 119人 (関連死含む)
- ・津波全壊家屋 467棟

磯山展望緑地(約1.8ha)

浜通りの最北端の町



## 凡例

- ① 防災集団移転促進事業 移転団地
- ② 区画整理・津波復興拠点整備事業
- ③ 公営住宅
- ④ 被災高齢者共同住宅
- ⑤ 小規模住宅地区改良事業
- ⑥ 県道整備
- ⑦ 町道整備
- ⑧ JR常磐線移設
- ⑨ 河川
- ⑩ 防災緑地
- ⑪ 海岸防潮堤
- 災害危険区域

新地町、復興交付金全体事業費＝約**525億円**  
 うち、**町事業：約355億円**、**県事業：約170億円**

## －新地町の復旧・復興状況－

### 震災から7年余り経過した「平成30年4月1日」現在の復旧・復興事業の進捗

1. 防災集団移転	高台等に整備された7箇所の新団地157区画中、空き区画は残り1区画となりました。
2. 災害公営住宅	愛宕東、駒ヶ原、大戸浜、岡、雁小屋、作田東、作田西、中島と、8つの団地に129戸を整備し入居しています。仮設住宅は、「がんごや仮設住宅」一帯の入居ですが、近く退去予定で5月末で廃止されます。
3. 被災高齢者共同住宅	台湾赤十字社の支援で、老夫婦や一人暮らしの高齢者を対象に22戸の長屋タイプ住宅を整備しました。(平成25年11月から入居)
4. 新地駅周辺土地区画整理	新地駅周辺「23.7ha」を盛土した新市街地では、元住民の住宅再建と、新たに分譲地を購入した方の住宅建築も進んでいます。防災センター(兼)消防署や石油資源開発(株)社員寮、駅東側には町外の医療法人による診療所が開業、地域エネルギーセンターも整備中です。また、駅西側の温浴施設・ホテルは、起業者と町が基本協定を締結し間もなく着工し、町交流センター・複合貸店舗の建設も始まります。さらに、防災センター裏側には商業施設用地の整備を計画しており、平成30年3月28日に都市計画が決定されました。
5. 防災緑地	釣師防災緑地(約18ha):防潮堤背後に盛土を施行中。この3月25日には、町内外から600人以上の参加により植樹祭が執り行われました。県内初ラウンドアバウト交差点も整備中。(町事業) 埴浜防災緑地(約24.5ha):盛土工事は終わり、29年6月には植樹祭が実施されました。埴浜北部の磯山展望緑地は3月末をもって完成し、この磯山展望緑地1.8haは、埴浜防災緑地に編入となりました。(県事業)
6. 道路	(復興道路) 町道:避難道路の整備が終わり既に供用を開始。新団地と拠点施設を結ぶ新たな路線「雁小屋線」や「中島作田線」も完成しました。 県道:金山新地停車場線は6号国道～新地駅前直行ルートに変わります。相馬亘理線バイパス、新地停車場釣師線、赤柴中島線も工事が進み、これらの一部区間が供用されています。赤柴中島線は、新地市街地のバイパス化に向けて調査が始まりました。 (災害復旧) 町道:17路線全ての復旧が完了しました。 県道:金山新地停車場線(作田地内)が完了し、通称浜街道「県道38号線」は宮城県境から埴浜までの一部区間が開通しました。
7. 河川	(改修事業) 砂子田川:新地駅周辺区画整理事業と一体で、拡幅と橋梁掛け替えが進められ、下流の一部を残しほぼ終わりました。(県事業) 地蔵川:河口付近橋梁と堤防を高くするのに合わせ、ルート変更、堤防、新しい橋梁工事が進んでいます。(県事業) (災害復旧) 三滝川、埴川、濁川:復旧工事が完了しました。(県事業)
8. 海岸(防潮堤)	防潮堤:以前より1m高い「TP7.2m」への嵩上げする工事が終わりました。(県事業)
9. 農業	農地復旧:農地のガレキ撤去は大型機械と人力により行われており、今年9月で完了予定です。 排水機場・水路:6箇所の排水機場が復旧し稼働(県事業)。壊れたり沈下した各所の排水路も昨年度で復旧が終わりました。
10. 漁業	釣師浜漁港は、岸壁嵩上げ、漁具倉庫再建が済み、荷さばき所も3月に完成しました。大戸浜南部には民間の水産加工施設が完成し、原発事故に伴う漁獲制限は、平成30年3月29日現在安全が確認された魚種が194種と増えました。
11. JR常磐線	平成28年12月、下り方面「浜吉田～相馬間」が5年9ヶ月ぶりに再開通し、残る双葉郡の不通区間の復旧中です。

## 住まいの再建（1） 防災集団移転促進事業（7団地）、小規模住宅地区改良事業（小川原添地区）



作田東団地（防集16区画、町営住宅6戸）



作田西団地（防集28区画、町営住宅9戸）



岡団地（防集18区画、町営住宅14戸）



雁小屋団地（防集58区画、町営住宅27戸）



大戸浜団地（防集23区画、町営住宅11戸）



富倉団地（防集8区画）



雁小屋西団地（防集6区画）



小規模住宅地区改良事業(小川原添地区)

防災集団移転団地は、町の中心から概ね「1.5km」の範囲に、7団地157区画整備しました。空き区画は作田西の一区画のみとなりました。

# 新地町の復旧・復興状況

住まいの再建（2） 災害町住宅（8団地-129戸）、被災高齢者共同住宅（台湾からの支援で22世帯整備）



鉄筋コンクリート造、UR都市再生機構に整備を委託

愛宕東(30戸)



各戸の間取りが異なります

作田東(6戸)



各戸の間取りが異なります

作田西(9戸)



雁小屋(27戸)



渡辺病院入り口

各戸の間取りが異なります

駒ヶ嶺原(6戸)



岡(14戸)



各戸の間取りが異なります

大戸浜(11戸)



各戸の間取りが異なります

中島(26戸)

「あぐりや」北向かいの被災高齢者共同住宅



災害町営住宅は、防集団地5地区他3地区に129戸整備されました。また、被災した高齢者のため、台湾赤十字社の支援により22世帯分の共同住宅を小川地区に整備しました。

# 新地町の復旧・復興状況

## JR常磐線復旧、新地駅周辺土地区画整理事業、防潮堤整備事業



JR常磐線は2016年12月に再開通



駅は盛土後の高い地盤に整備



駅南西の住宅地では建築が進んでいます



駅東に建築中の地域エネルギーセンター完成図



新地駅南のコイン駐車場が完成

新地駅周辺では元住人や町外転入者の住宅建築が進む他、相馬港のLNG基地から仙台方面に伸びるパイプラインのガスを、新地駅周辺で活用する施設「地域エネルギーセンター」が着工しました。また、駅西側では、温浴・宿泊施設、町の交流センター、複合店舗が近く着工し来春完成する予定です。区画整理事業に伴い新しい街区が生まれ、これらの住居表示について町と地区住民が懇談し、新地町にも「〇〇何丁目」という住所が誕生するかも知れません。



防潮堤：左は釣師、右は埴浜



魚港南ドック部が外堤防とつながる

防潮堤の復旧と新設は、宮城県境近くから釣師浜漁港南まで、以前より「1m」高いTP7.2mの高さで整備され、漁港船溜まり南も左のように高い堤防が完成しました。

# 新地町の復旧・復興状況

## 防災緑地、道路整備事業



釣師緑地完成イメージ



釣師緑地北部



踏切を無くし立体交差に

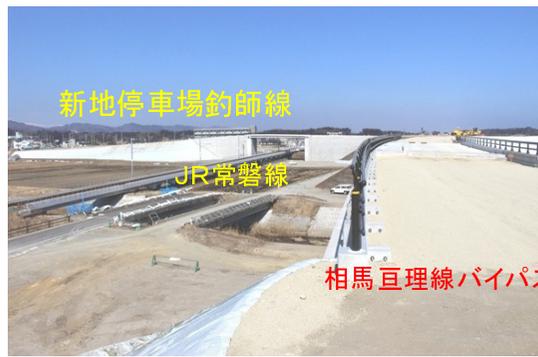
町道：大戸浜富倉線の「大富希望の橋」



2018/3/25 師緑防災地植樹祭



埴浜緑地(県事業)植樹祭(2017/06)



県道：新地停車場釣師線と相馬亘理線及びJR交差

沿岸部の集落跡地2地区には津波の力を減衰させ漂流物を捕捉する効果の緑地を整備中です。町内外の個人・企業から支援もいただき「どんぐり」、「黒松」等を植えて育てています。道路は震災の教訓から新しくつくる避難路は「踏み切り」の無い道路としました。また、新設防集団地による交通量増加に対応する、新たな連絡道路も整備されました。



小高い丘で眺望良好な広場

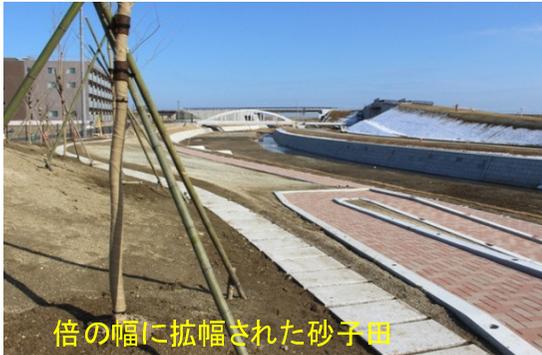
県境近くに整備中の磯山展望緑地



雁小屋線が開通し、総合公園方面へのアクセスが向上しました。(団地上空から南方を見る)

# 新地町の復旧・復興状況

## 河川、農林水産業（施設）の復旧



倍の幅に拡幅された砂子田

河川：新地駅南方の常磐線交差部付近



河川：濁川河口釣師地内



農地復旧：ガレキ撤去中の埴浜付近



農地復旧：復旧後大豆を作付した作田前



排水路復旧中の駒ヶ嶺江堀川も完了



漁業：岸壁嵩上げ後の釣師浜漁港で白魚水揚げ



漁業：大戸浜には民間の水産加工施設が完成



林業：ふくしま森林再生事業  
森林の放射線量低減と山の再生を図ります

河川は拡幅・護岸橋梁工事がほぼ完了。農地復旧は大量で多種のガレキ撤去を、機械と人力により実施中で今年9月で完了予定です。農業用排水施設の復旧も昨年度で終わりました。漁業は釣師浜漁港の岸壁嵩上げ・漁具倉庫再建が終わり、荷さばき所もこの3月に完成しました。漁港南部には地元産の魚を加工する「水産加工施設」が完成しましたが、まだ水揚げされる魚が足りずフル操業はしていません。林業は森林の再生を図る福島県独自の間伐等事業を実施中です。

## 大規模プロジェクト（町の人口増）、定住促進住宅、町外からの移住者、仮設住宅の廃止



相馬港(町内)に建設中のLNG基地



新地インターに建設中の高速バスストップ



福田定住促進住宅---12戸



町外からの移住者の多い「岡地区」



震災後に町内に建築されたアパートは40棟以上で200世帯を超え、主にLNG関連事業の社員等が町外から入居し、少子化の中でも現住人口が増えています

震災後、多くの町外被災者が新地町に住宅を再建し、その数は150世帯を超えています。新地の岡地区、駒ヶ嶺の原地区は特に移転者の多い地区です。また、新地駅周辺土地区画整理事業でも、町や民間分譲地を購入した町外者が、住宅を建築し新たな人口増となっています。一方、町中心部から遠い福田地区は人口が増えにくく、人口を増やす施策を行っています。



仮設住宅撤去後は元の陸上競技場に復旧



唯一入居中「がんごや仮設」も今年5月廃止予定

仮設住宅は当初、町民の被災者向けに計画されましたが、原発事故により多くの町外被災者から申込があり、追加整備し「573戸」建設されました。町民の住まい再建が順調に進み、集約撤去が進み、現在入居中は「がんごや仮設」の一世帯ですが、近く退去するため、最初の仮設入居から約7年あまりの5月に廃止予定です。

# 心の復興

若者たちが「やるしかねえべ」と震災前の夏祭りを継続。被災者もいろいろな活動を通じて心の復興につなげています。

## 〈アイラブしんちサークル〉



桜植樹

## 〈しんちビーチク隊〉



ビーチクリーン活動



やるしかねえべ祭 8月第一週

〈NPO法人みらいと〉 平成24年8月に設立され活躍。4月からは 任意団体として活動を継続していきます

## 〈ジオラマ、復興フラッグ〉



キッズ耕せプロジェクト



新地駅前バレンタインイルミネーション



役場駐車場に仮掲揚中

## 〈しんちの子育て考え隊〉



子供座禅会



屋外(自然)体験活動



他にも……多くのグループが積極的に活動しています..

# 撮れたてフォト

最新の現場や町の様子を紹介。写真位置は次ページ図を参照。



①新地インター北に南工業団地(二期分)を整備中



②完成した漁港荷さばき所に「いけす」据付



③町内外から600人以上が参加した釣師防災緑地植樹祭(3/25)



④大戸浜から今泉に向かう尾根の砂利道は、震災後「命の道」と呼ばれ、待避所を整備しました



⑤新地駅前の一般利用駐車場は4月からコインパーキングになりました



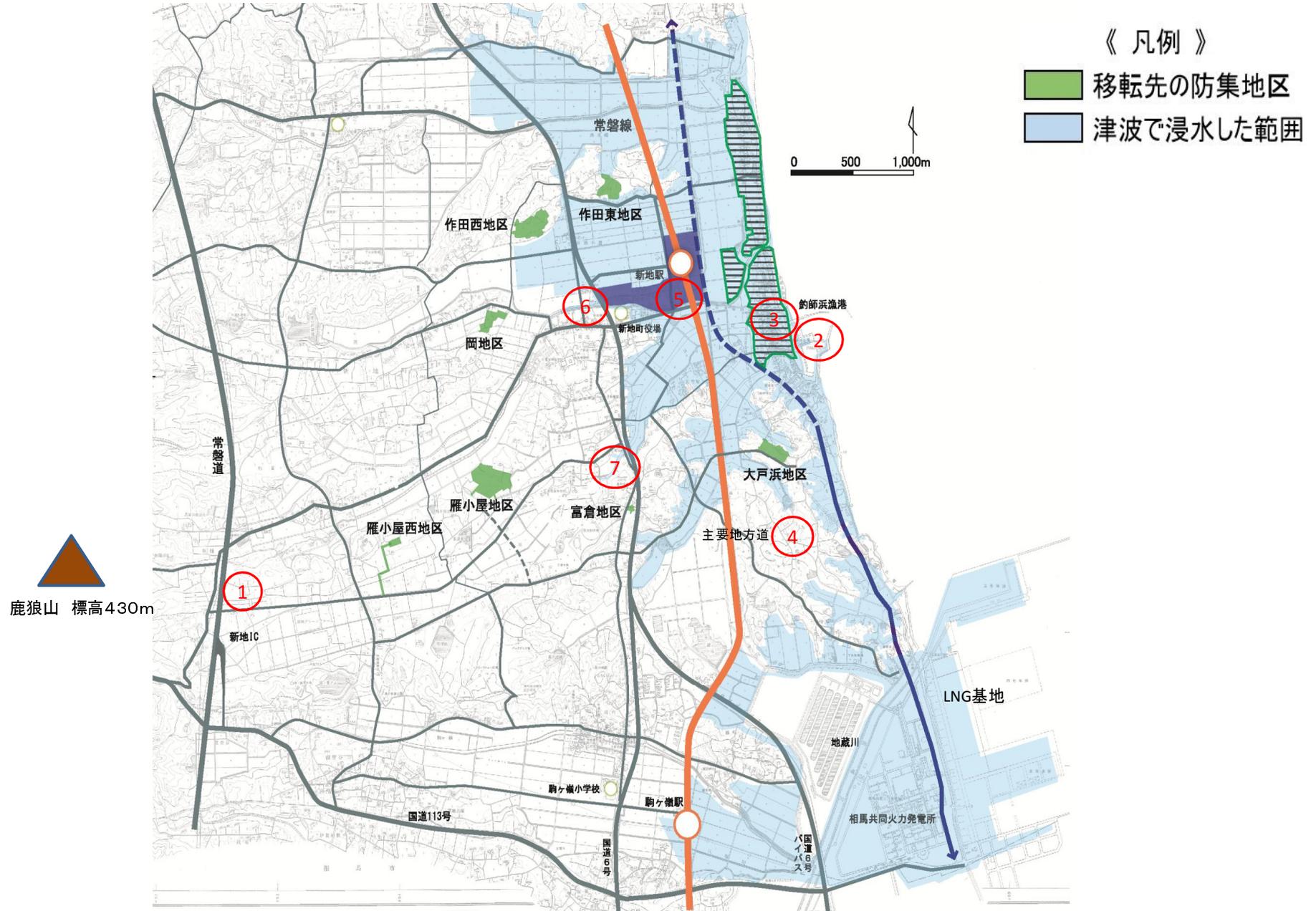
⑥味菜ひろば「よりみち」

町には果樹も含め数軒の地場産の店があり人気スポットです。中でも草分けの「あぐりや」は、昨年の来客数が延べ11万人を超え、安く新鮮な野菜をはじめ、菊など新地の花も人気の一因で、町外からの来店客も多い。また、6号国道沿いの「味菜ひろば・よりみち」は、ここ限定の「ニラかりんとう」、「味菜たれ」、「特製ギョーザ」が人気です。



⑦新地地場産市場「あぐりや」

# 撮れたてフォト(写真)位置図



# 被災3箇所の震災直後とその後(1)

被災直後の2011年3月16日と同位置のその後

①新地新聞店東方の県道から役場方面



沿岸部集落から流された住宅や車両等ガレキで砂子田川や水田が埋めつくされた「萩崎」地内



2018年3月1日

県道は南側に寄り砂子田川は大きく拡幅されました。

②小川天竺原の水田から6号国道方面



この周辺は「入り江」の地形で、ガレキが大量に集まりその中で自衛隊の捜索活動中が行われていました。



2017年9月

水田のガレキが撤去され稲がまた作付けされています。

③役場4階展望ロビーから釣師方面



役場4階展望テラスから釣師方面を望む。集落が消滅し5日たっても水が引かずに残っていました。



2018年4月1日

鉄道が内陸に移設され、元の鉄道敷は高く盛土され県道のバイパスになります。県道の一部区間は開通しています。

# 被災3箇所の震災直後とその後(2)

被災直後の2011年3月16日と同位置のその後

④作田地内の6号国道(現ラーメン店向かい)



津波は6号国道を越え、片付けられた流木が散乱



2018年3月1日

↓ 消防署・役場

国道にも津波到達地点標識が各所に建つ

⑤小川原添踏切



この踏切は漁港から西700m地点にあります



2018年3月1日

↓ 大富希望の橋

常磐線はここを起点に内陸側に移設

⑥県道相馬巨理線埴浜から県境



橋台だけが残り上部工は流されました



2018年3月1日

↓ 磯山展望緑地

新たな県道は常磐線跡地にバイパスとなりますが元浜街道も復旧されて残ります

